

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学14							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	2年	4期	住吉 泰之		○		
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	臨床柔道整復学		座学	1	10		
科目概要							
柔道整復師として外傷の対応を正しく行えるようになるため、骨折・脱臼・軟部組織損傷の鑑別診断、処置、後療法、予後における対処で誤りが無いよう、必要な知識を習得すると共に、臨床において重要な技術と患者様を管理する態度を身に付けるよう、それぞれの部分で説明をする。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	膝部～下腿部という歩行に関する ADLに重要な部位の外傷であり、柔道整復師として取り扱うことが多々ある部位でもあるので、受傷機序～鑑別診断～修復・固定・後療法～予後という一連の流れを想定することができるよう知識を取得する。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small> <ol style="list-style-type: none"> 1. プラント病の部位と年齢、症状の特徴を理解し、X脚とO脚を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 2. 分裂膝蓋骨のタイプ、タナ障害の部位と特徴を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 3. ジャンパー膝とランナー膝の区別と鑑別検査法を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 4. ハンター管症候群の神経症状を理解し、近傍の神経損傷と区別し選択肢から正しいものを選ぶことができる 5. 下腿疲労骨折の2タイプの特徴と好発部位を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 6. 下腿骨幹部骨折の定型的部位と転位、整復固定、合併症を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 7. アキレス腱断裂の鑑別検査、治療法を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 8. 下腿三頭筋肉ばなれの別名とアキレス腱断裂との区別、治療法を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 9. 下腿コンパートメント症候群の特徴と緊急性を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 10. シンスプリントの部位と特徴を理解し選択肢から正しいものを選ぶことができる 						
履修に必要な予備知識や技能							
1年次に学んだ解剖学の膝～下腿～足関節の構造機能の復習をお願いします。							
教科書・参考書							
教科書:「柔道整復理論・総論 改訂第6版」 参考書:「柔道整復学・実技編 改訂第2版」							
受講上の注意							
基本は暗記となるので、短期記憶から中期記憶、中期記憶から長期記憶となるよう、復習を充分に行ってください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (テックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	既習範囲復習、膝関節部の構造と機能			p.383-387	教科書・筆記用具		
第2回	膝軟部組織損傷:プラント病、分裂膝蓋骨、タナ障害 【プラント病の部位と特徴、分裂膝蓋骨のタイプ、タナ障害の部位と特徴】			p.404～p.410	教科書・筆記用具		
第3回	膝軟部組織損傷:ジャンパー膝、ランナー膝、ハンター管症候群 【ジャンパー膝とランナー膝の区別と鑑別検査法、ハンター管症候群の神経症状】			p.404～p.410	教科書・筆記用具		
第4回	下腿部の機能解剖 【下腿の解剖学的構造と特徴】			p.411～p.413	教科書・筆記用具		
第5回	下腿骨幹部骨折① 【下腿疲労骨折の2タイプの特徴と好発部位】			p.413～p.420	教科書・筆記用具		
第6回	下腿骨幹部骨折② 【下腿骨幹部骨折の定型的部位と転位、整復固定、合併症】			p.413～p.420	教科書・筆記用具		
第7回	下腿部の軟部組織損傷① 【アキレス腱断裂と下腿三頭筋肉ばなれの区別と鑑別検査、治療法】			p.421～p.424	教科書・筆記用具		
第8回	下腿部の軟部組織損傷② 【下腿コンパートメント症候群の特徴と緊急性、シンスプリントの部位と特徴】			p.421～p.424	教科書・筆記用具		
第9回	試験				筆記用具		
第10回	解説授業			p.404～p.424	教科書・筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
本校卒業した柔道整復師、接骨院勤務歴12年。 柔道整復師として施術現場とかかわる柔道整復理論を講義します。 また、本校のOBとして、特に重視するべき点をお伝えいたします。							
メールアドレス							
sumiyoshi@nihonisen.ac.jp							